

(様式 3)

平成 24 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

研究テーマ名称	複合的災害を巡る社会構造と言論に関する科学技術社会論的研究～格差の構造に注目して
応募事業区分	若手研究者研究支援事業
申請代表者氏名	標葉隆馬

○ 研究状況報告

申請者は、今年度、東日本大震災と続く福島第一原子力発電所事故（以下 3.11）をめぐる様々な格差の構造を明らかにし、科学技術社会論の観点からその含意について考察を加えてきた。具体的な研究進捗状況として、3.11 の被災地域の背景にある貧困・高齢化・産業構造格差の問題、またメディア上における関心格差があることを明らかにしてきた。また、これらの種々の格差、今後の復興を巡る格差（社会的資本投入の格差）にもつながる重要な論点であることを、科学技術社会論の観点、とりわけ Langdon Winner の「人工物の政治性」をめぐる議論を補助線として考察した。

○ 当該事業年度において達成された研究成果

平成 24 年度の研究では、次の事柄について成果を得た。

- ①被災自治体レベルにおける被害規模と経済規模の負の相関関係
- ②被災自治体の背景にある、貧困・高齢化と産業構造の偏りなどの社会構造上の問題
- ③新聞・SNS・ブログなどを対象とした大規模なメディア分析による、メディア上における話題の格差（原子力発電所事故に飲まれていく津波へのメディア関心）
- ④急速な日常回帰／3.11 の社会的関心からの消失・忘却

以上の結果について、科学技術社会論の視点から考察している。以上の結果は、次の項目で示す二つの成果物として、一般書籍として刊行されている。

○ 本研究を基に発表した論文と掲載された雑誌名等のリスト（論文があれば添付）

標葉隆馬（2013）「複合的災害、その背景にある社会」、中村征樹（編）『ポスト 3.11 の科学と政治』、ナカニシヤ出版. 第 5 章, pp179-224.

田中幹人・標葉隆馬・丸山紀一郎（2012）『災害弱者と情報弱者－3.11 後、何が見過ごされたのか』、筑摩書房.

(様式 3)

平成 25 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

研究テーマ名称	複合的災害を巡る社会構造と言論に関する科学技術社会論的研究～格差の構造に注目して
応募事業区分	「若手研究者研究支援」
申請代表者氏名	標葉隆馬

○ 研究状況報告

本研究プロジェクトは 2012 年度・2013 年度の 2 年間に渡り実施されたものである。本研究において申請者は、東日本大震災と続く福島第一原子力発電所事故（以下 3.11）をめぐる様々な格差の構造を明らかにし、科学技術社会論の観点からその含意について考察を加えることを目指した。その結果、まず 2012 年度においては、被害を可能にした社会構造として、被災地域における貧困・高齢化・産業構造格差の問題があること、またメディア上における関心格差があることを明らかとした。更に 2013 年度には、「どのような地域／社会特性を持つ人々が、それぞれどのように 3.11 の問題を捉えているのか？」について、インターネットを利用した大規模なモニター質問紙調査からその実態を明らかにした。

○ 当該事業年度において達成された研究成果・今後の展望等

2012 年度～2013 年度の 2 年間に於いて明らかにされた知見は、これまでに 2 冊の著作、3 本の電子媒体記事、そして多くの学会発表・一般講演という形で公表されている。但し、2013 年度までに達成された、これらの成果物は主として 2012 年度までの結果に基づくものである。そのため、2013 年度に実施した質問紙調査から得られた新規知見については、現在論文として投稿するための準備を行っている（すでに学会発表は行っている）。

またこれらの成果を海外学会等で発表し、共同研究者を獲得することに成功している。現在、米国ドレクセル大学やレンセラー工科大学の研究者らと共に、英語書籍としての研究発表に向けた準備を進めている。

○ 本研究を基に発表した論文と掲載された雑誌名等のリスト（論文があれば添付）

- 標葉隆馬. (2013) 「複合的災害、その背景にある社会」、中村征樹（編）『ポスト 3.11 の科学と政治』, pp.179-224.
- 田中幹人, 標葉隆馬, 丸山紀一郎. 『災害弱者と情報弱者－3.11 後、何が見過ごされたのか』, 筑摩書房.

電子媒体記事

- Ryuma Shineha & Mikihiro Tanaka (2014) “Mind the Gap: 3.11 and the Information Vulnerable”, *The Asia-Pacific Journal*, Vol. 12, Issue 7, No. 4.
- 標葉隆馬. (2014) 「東日本大震災 改めて見つめたい「これまで」と「これから」」, *α-synodos*, vol 144.
- 標葉隆馬. (2013) 「東日本大震災 いま、もう一度確認したいこと／目を向けたいこと」,

(様式 3)

平成 25 年度学融合推進センター学融合研究事業 研究成果報告書

α-synodos, vol 124.